

神谷中サブファミリー

施設一体型小中一貫校

第2回目『新築基本設計ワークショップ』を10月22日（月）に神谷ふれあい館にて開催しました。

また、検討の参考とするため、平成27年3月に竣工した杉並区立小中一貫校教育校杉並和泉学園の視察を行いました。

先進事例の視察(10月15日) 「杉並区立杉並和泉学園」

視察校の「気に入ったところ」や「新校舎に活かしたいところ」などに視点をおきながら、8名の検討委員の方と視察を行いました。

校舎内

普通教室はオープンスペースが広く開放感があって使いやすいという意見や小中の共用スペースとなるランチルームはトップライトから自然光が入り、明るくて良いといった意見がありました。

また、図書館・パソコンルーム・地域資料室が一体になったラーニングセンターは、調べ学習の場として積極的に利用されていました。



ランチルーム

校舎外

低学年の教室に面して中庭があり、子どもたちが楽しく遊んでいる姿が見られ教室に面して遊び場があるのは良いといった意見がありました。



中庭

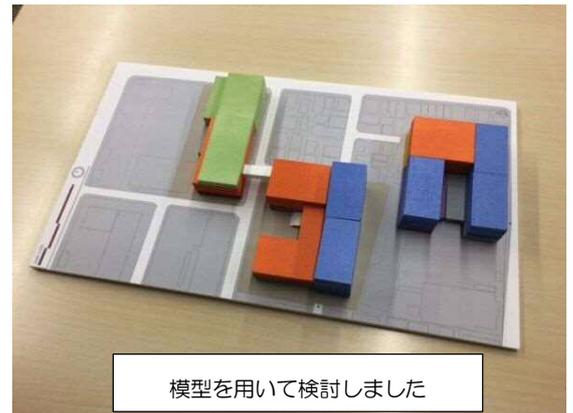
検討委員メンバーのその他感想

- ・内装材で木が使用され暖かみがあり良かった。
- ・ラーニングセンターは広く使いやすいそうであった。
- ・四季が感じられる植栽があると良い。
- ・外から入れる会議室や災害時の避難場所の必要性を感じた。

第2回「新築基本設計ワークショップ(10月22日)」の概要

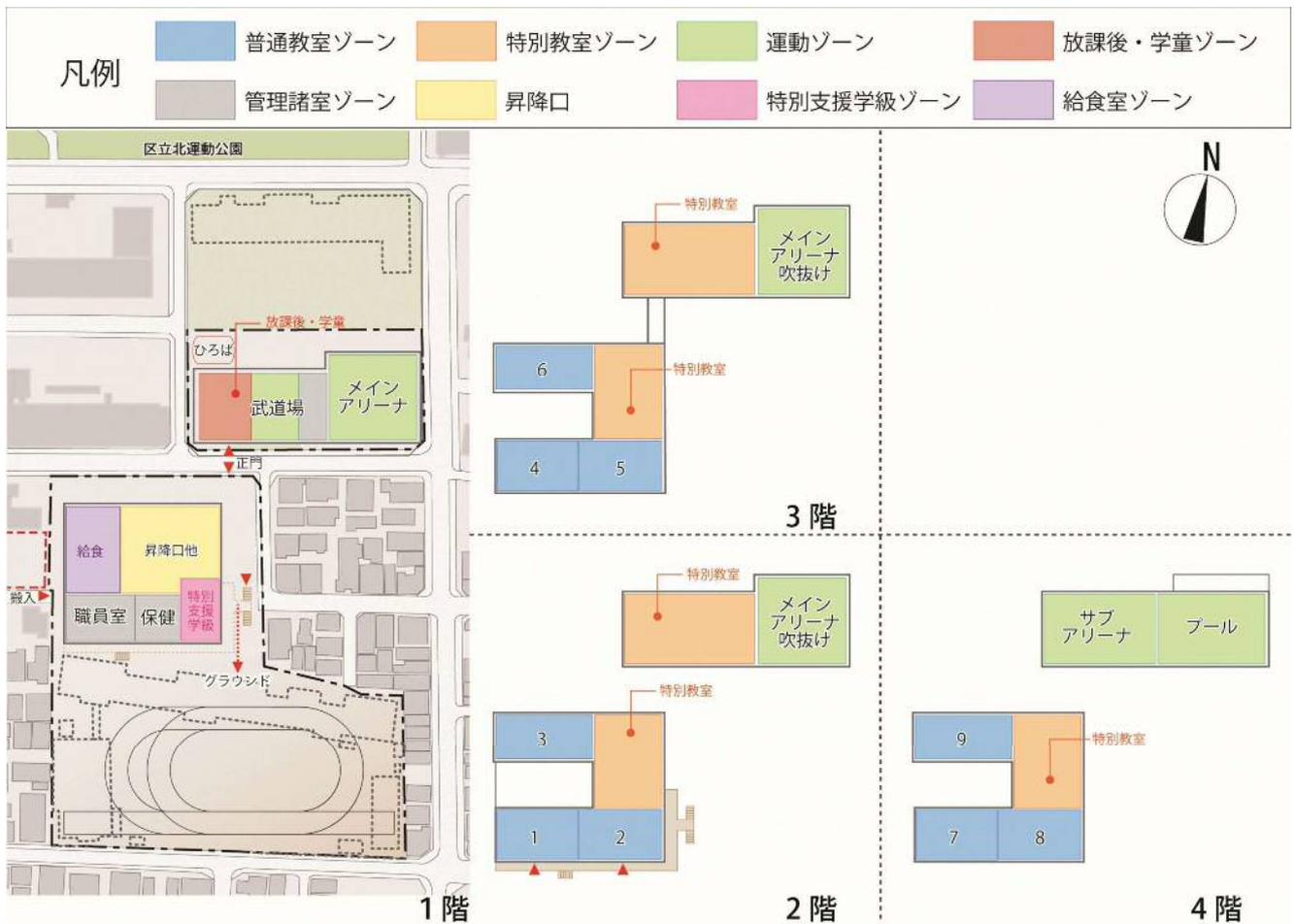
前回の検討事項でいただいた意見をもとに、建物の各配置案を比較し、最適と思われる以下2つの平面プランを提案しました。

各平面プランについて、「良いところ」と「気になるところ」を模型と表を用いて、3班に分かれて検討し、発表しました。



模型を用いて検討しました

A案



主な発表時のコメント

- ・ 休み時間や学年集会を考慮すると3学年ごとのまとまりができるため運用しやすい。
- ・ 1フロアに学年の配置が多くなることで避難時の点呼や誘導がしやすい。
- ・ 小中交流となる特別教室が各学年の中心には配置されているのが良い。
- ・ 機能的に完結しており分かりやすい。
- ・ 昇降口とグラウンドの距離を縮めたい。

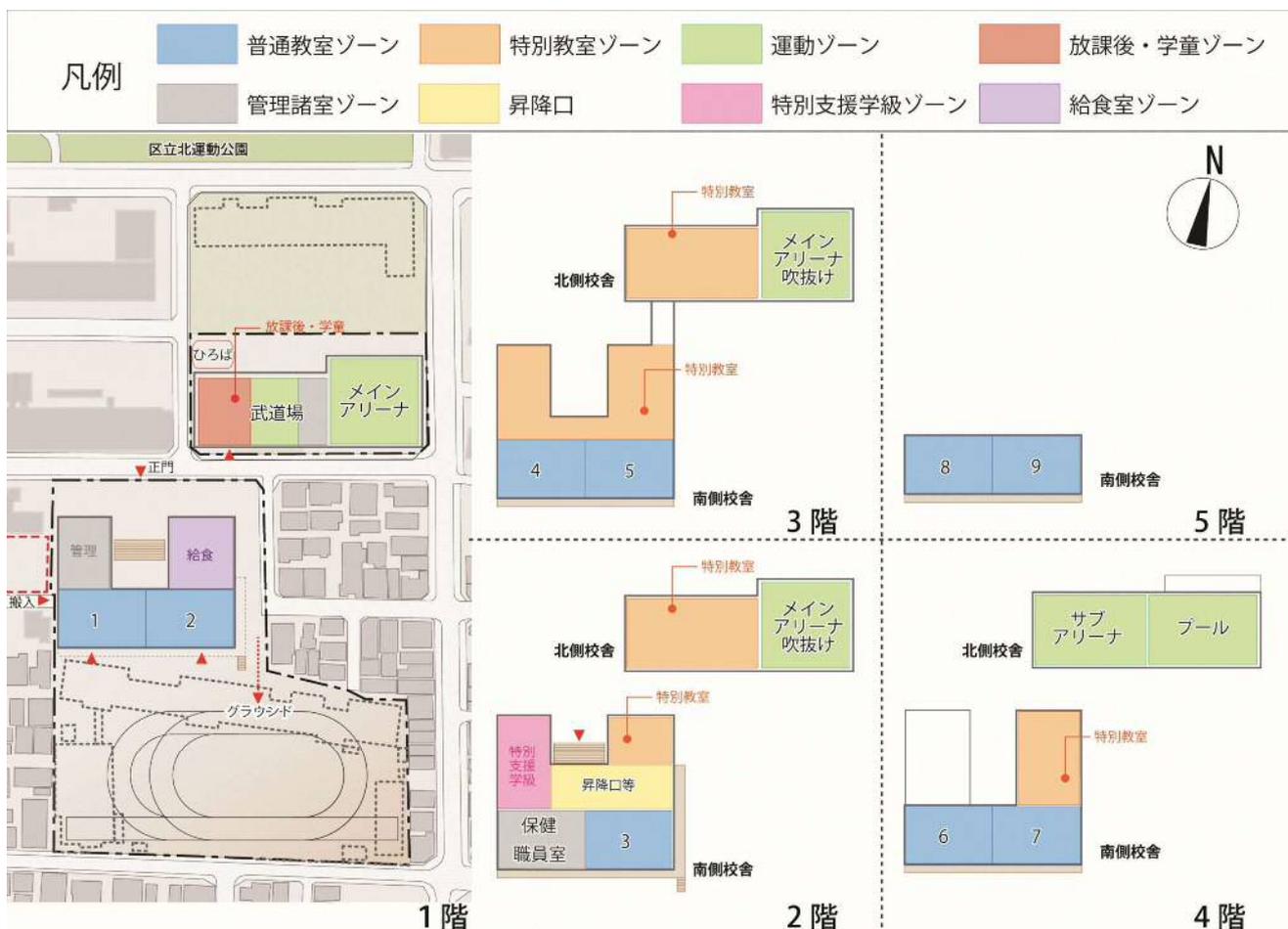


各班の意見を発表しました

その他の意見

- ・ 渡り廊下は出来る限り広くしてほしい。
- ・ 既存樹木は可能な限り残したい。
- ・ 児童、生徒数の増加に対応できる計画としてほしい。
- ・ 北側校舎は地下を利用し体育館の高さ確保を検討してほしい。

B案



主な発表時のコメント

- ・ 職員室は2階に設置し上下移動の中間にあると良い。
- ・ 学年の並びについて適した配置を検討する必要がある。
- ・ 学校への入口は正門に加えて複数あると良い。
- ・ 近隣配慮として北側部分が低層となるのは良い。
- ・ 低層部分の屋上を有効活用して、子どもたちの遊び場になると良い。



【今後の予定】

	日程	主な検討事項
第3回	11月13日(火)	施設配置の検討②
		課題の洗い出し
第4回	11月27日(火) (午後7時から)	整備コンセプトの検討
		施設配置のまとめ
		整備コンセプトの決定



～次回のワークショップのご案内～

日時 平成30年11月13日(火)

午後7時から(2時間程度)

場所 神谷ふれあい館 第一ホール(神谷区民センター内)

傍聴 受付は午後6時30分から開始いたします。

このワークショップは傍聴が可能です。傍聴を希望される方は、当日、直接会場までお越しください。

※第4回目の場所等も同様です。

北区では、神谷中サブファミリーを構成する稲田小学校・神谷小学校・神谷中学校による、施設一体型小中一貫校を建設する予定です。

この改築レターは、各校PTA、教職員、通学区域内の町会・自治会等の代表の方々に構成された検討委員の皆様による『新築基本設計ワークショップ』の内容等をお知らせするものです。

過去のワークショップの資料等については、以下の北区ホームページでも紹介しています。

●北区ホームページ「施設一体型小中一貫校の改築」

ホーム>子育て・教育>小・中学校>学校の改築・改修

>施設一体型小中一貫校新築基本設計ワークショップ

【問い合わせ先】北区教育委員会事務局 教育振興部学校改築施設管理課
電話 3908-9277